〔記入の留意点〕

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 記入方法及び留意点 |
| 「様式第4－1」の  該当施設 | 学校、社会福祉施設、事業所、寄宿舎、矯正施設、自衛隊、一般給食センター |
| 報告書作成月及び  提出について | （１）６月分を作成する  （２）７月１９日までに姫路市保健所へ提出する（メール提出）  提出年月日を記入する |
| 保存期間 | ３年 |
| 施設名・所在地等 | 当該給食施設の名称、所在地、電話番号、FAX番号、設置者の役職・氏名、  報告書作成者の部署・氏名、施設E-mailアドレスを記入する |
| 定員 | 定員数を記入する |
| 在籍者数 | ６月１５日現在の在籍者数を年齢区分により記入する |
| 施設管理者名 | 当該給食施設の施設管理者名を記入する |
| 給食責任者名 | 当該給食施設の給食責任者名を記入する |
| 施設栄養士名 | 当該給食施設の栄養士名を記入する  資格、勤務形態について該当する項目を○で囲む  非常勤職員も記入する。兼務の場合は、空欄に出勤日数を分かるように記入する  長期休暇中（育休・産休等）の場合はその旨が分かるように記入する |
| 給食従事者数 | 当該給食施設において、給食関係業務に従事している人数を、所属別（施設／委  託）、職種別、勤務形態別（常勤・非常勤）に記入する  なお、ここでいう職種とは職務内容によるもので、資格を有しているかどうかでは  ないため注意してください（栄養士の資格があっても調理員として勤務している場合は調理員等に計上する） |
| 給食運営状況等 | （１）給食の運営状況（直営・委託）について、該当する項目を選択する  （２）委託の場合は委託内容の該当する項目を選択し、委託業者名、本社の所在地、℡、委託先責任者名について記入する  （３）他施設給食の調理の有無について、該当する項目を選択する  有の場合は配送先施設名を記入する |
| １日平均食数 | １か月平均の１日当たり食数について、利用者と職員に分けて記入する |
| 給食時間 | 朝食、昼食、夕食、その他の食事提供時刻を記入する |
| 給食材料費 | １か月平均の1人１日当たり材料費を記入する  　なお職員食の提供がある場合は、利用者の材料費と分けて、空欄に分かるように記入する |
| 給食実施頻度 | 給食を提供する頻度について、該当する項目を選択する  　また毎日実施ではない場合は、週に何日実施しているか記入する |
| 提供形態 | 給食の提供形態について、該当する項目を選択する  　該当する項目がない場合は、提供形態が分かるように空いている所に記入する |
| 栄養摂取状況 | （１）作成対象は、施設で一番対象者の多い食種とし、対象区分又は対象年齢区分を記入する　　　　　　　（例）中学２年生男児、５０～６９歳女性など  （２）施設基準の作成年月を記入する  （３）栄養素別、食品群別に１人１日当たりの目標量及び給与量を記入する  ただし、目標量について幅で設定している栄養素の場合は、幅で記入しても  差し支えない  （４）炭水化物エネルギー比は、炭水化物由来のエネルギーの全エネルギーに占める割合を記入する  （５）たんぱく質エネルギー比は、たんぱく質由来のエネルギーの全エネルギーに占める割合を記入する  （６）脂質エネルギー比は、脂質由来のエネルギーの全エネルギーに占める割合を記入する  （７）食品群別の目標量は、栄養素別目標量を給与するために施設内で設定した量を記入する。ただし、他の食品群の中に含めている、または食品群として設定していないなど群別の分類が異なる場合は、その内容がわかるように記入する  　　（例）みそを大豆製品として区分：大豆・大豆製品及びその他豆類にみそを含め  た量を記入し、空欄にその旨を記入する  　　　　 みそを調味料として区分 ：調味料として区分している旨を記入する  （８）アレルギー対応について、該当する項目を選択する  （９）使用中の日本食品標準成分表の版について、該当する項目を選択する |
| 給食管理の状況等についての質問項目 | 各質問項目に対し、該当すれば**○**印、該当しなければ**×**印を記入する |
| 非常時の対応 | 各マニュアル等の有無を選択し、有の場合は内容を記入する |
| 給食対象者の  体格把握 | 対象者のうち肥満とやせに該当する者の割合を、前年度と今年度の２年分記入する。肥満・やせの判定方法は、次のとおり年齢別の体格把握の方法による   1. 幼児（３歳以上～就学前）について   幼児身長体重曲線（性別・身長別標準体重）による  肥満度＝〔実測体重（kg）－身長別標準体重（kg）〕/身長別標準体重（kg）×１００％ 【肥満：＋１５％以上、やせ：－１５％以下】   1. 児童・生徒（小学生～１８歳未満）について   学校保健統計調査方式(性別・年齢別・身長別標準体重)による  肥満度＝〔実測体重（kg）－身長別標準体重（kg）〕/身長別標準体重（kg）×１００％　　　【肥満：＋２０％以上、やせ：－２０％以下】   1. １８歳以上について   ＢＭＩによる　　ＢＭＩ＝体重（kg）/ 身長（m）×身長（m）  　【肥満：２５以上、やせ：１８．５未満】    なお、給食対象者とは実際に給食を食べている者を指す。ただし、対象者を特定す  ることが難しい場合には、全生徒・全児童等の把握でもよい  ※年齢別区分の考え方について   1. 幼児とは３歳以上小学校就学前の児を指す。ただし、幼稚園等の施設で学校保健統計調査方式による体格把握を行っている場合は、その方法による判定を記入してもよい。なお、０～２歳については記載不要 2. 児童・生徒とは小学生から高校生までが該当する。１８歳以上であっても高校在籍中の者は、学校保健統計調査方式による体格把握でもよい 3. １８歳以上であっても、高校在籍中の者は②の学校保健統計調査方式による体格把握でもよい。高校に在籍のない者は、１８歳未満であってもＢＭＩによる |
| 食育、健康支援、栄養管理に関する課題や取り組み等 | 施設の健康課題と改善の取り組みや給食を通じた健康づくりの取り組み等について記入する  （例）・肥満者が多いことが課題で年１回産業医の講演による啓発を実施している  　　 ・食堂でヘルシーメニューを毎日提供している  　　 ・毎月、給食だよりを作成し配布、食堂に掲示している |